



# 道徳通信 NO. 18

平成28年11月30日発行  
道徳教育推進委員会

## トイレトペーパーにまつわるエトセトラ

寒い時期になると、教室のトイレトペーパーが放置されている状況を目にすることがあります。本来の使用目的と違うことをしている人がいるということだと思います。

高校のみならず、大学や公共の場でも、問題が生じているようです。次の記事を読んで考える機会としてほしいと思います。

### 記事1

## 古紙でトイレトペーパー1300個 三重大が回収、リサイクル

三重大キャンパス（津市）で回収した古紙から生まれ変わったトイレトペーパー約1300個が、初めて同大に届いた。学内で1カ月間に使われる2割に当たる量という。

同大がキャンパス内3カ所に緑色の「古紙回収ボックス」を設置したのは4月21日。同月中に約5.7トンが集まり、契約したリサイクル業者が引き取って再生させた。学生がデザインした包み紙には、環境に関する各学部の研究概要やマスコット「まもる」が印刷されている。

この取り組みを進めている環境ISO学生委員会の古紙再利用化プロジェクトリーダー谷口公美さん（19）＝生物資源学部2年＝は「今後は回収するだけでなく、紙の両面を使って使用量を減らしたり、分別をきちんとしたりする意識の向上を呼び掛けていけたら」と話している。

（2008年5月17日 中日新聞）

### 記事2

## 年8万ロール持ち出されていた



### 筑波大トイレから 准教授試算

筑波大のトイレから年間8万個ものトイレトペーパーが持ち出されている—そんな試算を筑波大の吉田謙太郎准教授（環境経済学）がまとめた。持ち出されたトイレトペーパーは、鼻をかむのに使った後に教室に放置されるほか、家に持ち帰る学生も多いという。「学生のモラル低下は深刻」（吉田准教授）として、筑波大は「持ち出し禁止」とトイレに張り紙をすることなどの検討を始めた。

調査は昨年10～11月、吉田准教授が担当する社会工学類2年生の社会調査実習の中で行った。学生9人が、授業の参加者や友人ら154人にアンケートした。

その結果、「トイレトペーパーを持ち出したことがある」と回答したのは、男子が40人（35%）、女子は10人（26%）に上った。持ち出した個数を聞き、学生1人あたりで平均

すると年間5・4個。大学全体で推定すると8万個を超えることがわかった。

持ち出したトイレットペーパーの用途は、「鼻をかむ」が41%で最も多く、「こぼしたものをふく」が26%と続いた。「家に持ち帰る」と答えた学生も19%いた。持ち出す理由については、「節約」が最多で29%、「規制がないため」24%、「罰則がないため」が17%となっている。吉田准教授は「アンケートで正直に答えていることから、罪悪感はないのだろう。教室にトイレットペーパーを持ち込むのは見苦しい」と嘆く。

この結果に、筑波大の泉紳一郎副学長は「トイレットペーパーで鼻をかむのが恒常的になっているのであれば、問題だ。実態を調査して、持ち出し禁止を呼びかけるなどの措置を取りたい」と話している。ただ、職員の中には「学内で使うのであれば問題ない」と持ち出しを容認する意見もあり、学内の意思統一が課題になりそうだ。

茨城大では「持ち出し禁止」の張り紙をしており、持ち出しが目立つことはないという。ただ、手ふき代わりに使うケースがあり、校舎によっては注意を呼びかけている。

(2008年5月23日 読売新聞)

### 記事3

## 公園トイレのトイレットペーパー廃止

ここ数年、ゴミの不法投棄や公園施設への落書き等、公園マナーを守らない人による行為が多数発生しており、特にトイレに関するトラブルが多く、その中でも、設置してあるトイレットペーパーを使っただけが問題になっております。

そのようなトラブルを少しでも減らしていく一手段として、豊明市では、市内都市公園トイレにおけるトイレットペーパーを2006年6月1日より廃止することといたしました。

本市としましても、市民の憩いの場として、誰もが快適に利用できる公園づくりを目指してまいりますので、市民のみなさんのご協力をお願いします。



#### 【一言】

致し方ない市からの処置だと思います。

自業自得というか・・・ 🙄

マナー・モラルあつての公共施設ですよ。

このトイレットペーパーを使っただけをする人達は御自宅でも同じ事をするでしょうか？

他人のものだから良い、ダレも見えてないから良い・・・じゃないですよ？

本当にトイレに入りたくて困っている人達の身になって考えれば

決してこのようないたずらは無かったでしょうに・・・

非常に残念ですね 🙄